昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2025年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2025年（令和７年）
11月21日 金曜日
第1995号

京都自動車新聞

京ト協　飲酒運転根絶むけ署名活動 2
京都府中古自動車査定士技能コン実施 6
輸入車ＥＶフェスを２年連続開催 6
ＪＵ京都特集 正副理事長に聞く 7
◀京都整備技能コン 石田選手が優勝 4

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール　access@kyotojidosha-np.jp

来場者数7千人超える

京ト協 トラフェス 2年連続で過去最多更新

京都府トラック協会（平島竜二会長）は3日、京都市伏見区の京都パルスプラザでトラックフェスタを開き、昨年の6300人を大きく上回る7240人が来場、過去最多記録を更新した。今年は告知案内の範囲を広げたほか、FMラジオでもアナウンス。昨年のスタンプラリー参加者に直接LINEで案内を送信する空中戦も展開したことが奏功。午前9時半からの開場にもかかわらず午前8時過ぎには入口に列ができるなど、終始にぎわいをみせた。

同フェスタはトラック業界を身近に感じてもらえるよう毎年、10月9日のトラックの日に合わせ実施しているもの。2022年からはトラックだけでなく、京都府バス協会（三浦達也会長）や京都府タクシー協会（筒井基好会長）も参画。バスやタクシーを展示することで、公共交通機関と触れあう機会の場としても親しまれている。

大勢の家族連れで終始にぎわう

今年は、青年部会（杉山貴富部会長）や女性部会（北岡敏江部会長）に加え、本部理事も初めて参加。交通安全・適正化事業委員会（小寺俊郎委員長）のブースや会場内で交通安全に関する啓発グッズを配布しながら、来場者とコミュニケーションを図った。

ステージイベントでは、京都府立鳥羽高校吹奏楽部の演奏やキッズダンス、同志社大学アカペラサークルによる合唱、よさこいチーム「京都西陣阿国」のパフォーマンスが会場を沸かせた。また、JAF（日本自動車連盟）は自転車の正しい乗り方教室を開講し、交通マナーやルールを守ることの大切さを子どもたちと一緒に学んだ。

午前と午後の2回にわたり行われたナンバーワン戦隊ゴジュージャーショーでは、始まる前からステージ前に多くの家族連れが集合。ゴジュージャーが登場すると子どもたちは大はしゃぎする一方、ハラハラする展開に一喜一憂しながら声援を送っていた。

会場内には屋台コーナーも設けられたほか、ジャンボふわふわは終日列が途切れることなく人気を集めた。

閉場後、平島会長はブース出展した事業者らに対し、「皆さんのおかげで成功裏に終わった。青年部会や女性部会、多くの理事も長時間にわたるフェスタへの協力に感謝している」と労をねぎらった。（関連記事2面）

懇談会で業界の行方語る

業界各般で新たな展開

服部近運局長と団体長ら

近畿運輸局の服部真樹局長が7日、伏見区の京都自動車会館を訪れ、着任後初めて公式な場で府内の自動車業界団体の首脳らと懇談した。この中で岩城局長は、成功裏に終わった大阪・関西万博と、過去最速ペースで3000万人を突破した年間訪日外国人客数を引き合いに、とりわけ旅客をはじめとする業界の活躍ぶりを激励。一方で、深刻化する人材難に対し強い懸念を示しながらも、「高市早苗首相の打ち出した労働時間規制緩和の検討が取りざたされている」と、その動向を見守る考えを明らかにした。

近運局長、業界団体間で懇談会が開かれるのはおよそ1年ぶり。懇談会では、京都府バス協会、京都府自動車整備振興会、京都府タクシー協会、京都府自動車販売店協会の5団体が事業概況を報告。とりわけ、労働力不足や新制度が焦点となった。懇談には、自動車関連の21団体・企業から33人が出席した。

席上で京バス協の三浦達也会長は、業界が直面する人材不足とその対策として、外国人運転士の採用条件の緩和やバス運転者の確保・養成に対する支援を要請。京整振の城谷忠会長も、電子車検証の更新が自社で完結できる「記録等事務代行制度」の導入率が26%で推移する現状などに関し説明を加えた。これを受け、服部局長は「9月26日付公示に基づく貸切バスの運賃・料金の引き上げで原資を増やし、ドライバーのなり手の獲得や労働環境の改善につなげてほしい。また、記録等事務代行制度のさらなる促進にご協力いただきたい」と呼び掛けた。

一方、京ト協の平島竜二会長は、適正原価を下回る運賃料金の制限、運送事業許可更新制度の導入、軽油引取税の撤廃に伴う運賃下押し圧力―などに関し問題提起。これには「適正原価の公示や、（悪質な荷主・元請事業者を是正指導する）『物流Gメン』の発動による不当な値下げの抑止で、ドライバーの適正な賃金が確保されれば人手不足の解消につながるはず」と応じた。

2度にわたる運賃改定で増収、賃金引き上げ、採用原資の調達を実現させたタクシー業界に関しては、「処遇改善を背景に運転手が増加傾向にある。業界にとって追い風」との見方を示した。

京タ協の筒井基好会長は①定額乗合タクシー「高台寺・清水シャトル」②官民一体による交通空白地帯への対策―に関しても概況を報告した。

京自販の澤井孝之会長は、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量を差し引きゼロにする概念）に向けた「脱炭素コミュニケーター養成研修会」の創設、大きな転換期を迎える税制改正、28年の登録・検査手続きのデジタル化―に関連する方針を報告。これらを踏まえ、服部局長は「税制についてすでに与野党で議論されているのは暫定税率のみ。国交省出身議員にもしっかりと訴え掛けていく」と業界に寄り添う姿勢を見せた。

＊「追跡データベース―日銀京都支店編―」は8面に掲載。

新たなアウトドア体験へ誘う
ザ・プレミアム・オフローダー

GX

Photo:
GX550 "OVERTRAIL+"
車両本体価格　11,950,000円 (税込)
ボディカラーはムーンデザート&ブラック〈M08〉※写真の一部は合成です

車両本体価格
GX550 "version L"　12,700,000円 (税込)　～　GX550 "OVERTRAIL+"　11,950,000円 (税込)

●価格にはオプション価格は含まれません。
●価格はメーカー希望小売価格<'25年4月現在のもの>で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。
●保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。
●自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

レクサス宇治
0774-22-2500
宇治市24号線
京滋バイパス交差点北
【営業時間】10:00～18:00
【定休日】水曜日、第2火曜日

レクサス北大路
0800-700-8100
京都市北区紫野花ノ坊町15番地
(千本北大路西入南側)
【営業時間】9:30～18:00
【定休日】水曜日、第2火曜日

レクサス西大路
0120-800-807
京都市右京区西大路五条
下ル東側
【営業時間】10:00～18:00
【定休日】水曜日、第2火曜日